

0832

- 一 支那國民ヲシテ排日、侮日、感情ヲ育成助長セシメタル。
各種事例ノ若半ニ就テ
- 二 支那抗日侮日ノ實情ニ就テ

昭二二
五
二〇
法務調査部第三科



0833

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

一 支那國民ラシテ排日抗日、侮日、感情ヲ育成助長
セシメタル各種事例ノ若干ニ就テ

一 要旨

最近數年間ニ亘テ蔣介石以下支那要人、行ツタ演説、書物或ハ政府ノ出シタ秘密文書又ハ訓令トイフヤウナモノヲ讀ンテ、ソレヲ一贯シテ流レテ居ルトコロノ精神ヲ要約シニ見ルト支那側ノ対日感ハ大体次ノ四ツノ点ニ帰スル。

第一 日本ノ国内ニ元老派ト少壯派、言ニ換ヘレハ現狀維持派ト現狀打破派ノ二個、相容レナイ思想カ对立シテキル。平時ニ於ケルサウイフ思想ノ对立ハ戰時ニ至レハ益激化シテ遂ニ國內ヲ分裂ニ導クコトカ出来ルト考ヘテキルコト。

第二 日本ハ資源カ少シイ經濟力カ薄弱テアリテ長期ノ戰争ニハ堪ヘ得ナイ。戰争力長引クニ從テ歎陥ヲ暴露シニ經済的ニ破綻ヲ來スアラシコト。

第三 ニ長期戰ヲ行ヘハ必ス「ソ」聯、「イギリス」或ハ其ノ他ノ國々ガ支那ヲ援

シテ與レルカラ支那ハ最後ノ勝利ヲ得ル確信ヲ有スレコト。

第四 日本ノ軍隊ハ日露戰爭以未実戰ノ経験カナリ、コレニ反ニテ支那軍ハ毎年固

0834 0838

内ニ戰爭アリルハ以マリ内亂ノ經験ヲ持ム事半心カラ日本ハ優秀大武器ヲ持ツル耳
ルカモ外レナイカ戰爭ノ勝利ハ支那側ニアルト断定シテ平ルコト

以上四点が外シテ支那人ノ間ニヘ新日戰爭カ勃發シタラハ必ス支那側カ勝ツトイフ
自信カアリ齊介石モ亦コレヲ大ニ宣傳シ教育シ藉シト全国民ノ信念ニナル程度ニマテ
之ヲ徹底セシミ寧ロ確乎不拔ノ信仰ニ迄ナランメタク如キ觀ガアツタ

事變ノ初ニ帝國ハ不擴大方針ヲ持シナルハク事件ヲ局地的ニ解決ンタイト考ヘテ平
タケレトモ支那側テハ豫テ国民政府ニ依ツテ教ヘラレ又豫想セヨ以日支戰爭カ愈ニ到
来シタト信シ最初ガラ金寧ヲ動員シテ兵車ニ排闥シニ東タノテアソダニテ
前述ノヤウナ自信カアツチ始メテ斯様之態度ガ執ヒタモノト考ヘラレル

排日抗日教書

排日抗日教書ノ實相ニソイテハ排日教科書ノ外ニ種々ノ課外読本トイフモノヲ作ツ
クハノ一回トソテ「征討論」（日本征討論）トイフノカアル。コレヲ讀ムト今國
事變之發端支那側之行動ハ清末之本書有テ也

0835 0834

支那側が既定、計畫ニ従ウテ自信ラジテ戰爭ヲ指導シテキルコトカヨリ分ルイテアツ
チ既ニ數年前ニ余同、事ガルヲ予期シテ準備ヲシテ東タモノト考ヘケルヲ得ナイ。

又武力作戦モ彼ノ予想通りニ進シテキル。即ち支那側へ日本上一戰ヲ交ハル場合ニ
於テハ海岸線ノ如キハ勿論最初カラ拠葉スル考ヘテキタニテアル。ソシテ段々奥地へ
奥地ヘト退キ広大ナ領土下在大ナ人口ヲ以テ「ナポレオン」ノヨロシヤレ遠征ニ比ヒ
シテ日本ノ軍隊ヲシテ餓餓ト寒サフ端ニ戰ハスシテ退却セシムシントンテキル。

又「日本征討論」所謂對日作戰三段階論ヲ唱ヘ第一段階ハ退却、第二段階ハ相対時
第三段階ハ反攻ト説明シテキル。

又、學校教育テハ有二ル教科書ニ排日抗日ヲ採リ合レ恰モ我國ニ於テ國民精神總動員ヨ
実施スルニシイテ小學校ニ於テハ修能ニ、書キ方ニ、綴リ方ニ皆精神總動員ノ要綱
リ標語ヲ織リ込ミ或ハ其ノ内容ヲ採入シテキルノト同シヤウニ排日教育ヲ全教科目
亘リテ配列シテ平タニ一國ノ國民教育ニ或ル一國ヲ打倒センコトヲ強調シ多教科書
用ヒテキルカ如キハ他ニ例未見ナシアリム。

或「學校元八生徒ニ排日方案」トキフ作文ノ題ヲ課シ圖畫ハ支那ノ日本ニ苛メ

レテヰル畫ヲ描カセ又書キ方ニハ「打倒日本」トイフ文字ヲ書カセルトイフヤウナ
様ニ小学校ハ勿論更ニ幼稚園ノ生徒時代カラ抗日思想ヲ植附ケテヰタノテアル。

學校外ニ於テモ被覆ニ抗日地図ヲ印刷シテ寢ル時ニモ地図ヲ頭ノ下ニ敷カセル
トニシテヰタ。即チ夢ニモ忘レナ。トイフ言葉カアルカ。コレラ實際ニ行ハテヰタ
テアル

右、外抗日スゴ六、抗日カルタ、抗日春聯ノ賣出シ、或ハ、識字運動ニ抗日、字ヲ
リ込ム等徹底シタ抗日精神ノ植エ付ケラ実行シタ

三、文化活動

事變當初、支那全土ノ新聞、通信、雜誌、惡ク抗日言論機關ニテアリ百余ニ上ル放
局悉ク抗日放送機關トナリ、紙ノ譚丸、電波ノ譚丸ハ支那民衆ハ勿論全世界ニ對シ
日本ノ侵略、模暴ヲ訴ヘ日本軍ノ慘敗、支那軍ノ大捷ヲ宣傳シ第三國ノ同情獲得、
民ノ志氣昂揚ニ努メ、映画、演劇亦盛シニ民衆ヲ駆ツテ抗戰、抗日ニ狂奔セシメテ
又抗日教育ノ徹底ハ太學生ヲ悲憤慷慨、抗日運動ニ熱狂セシメタルノ如ラス青年
之戰線ニ立外洋在學學生マニ戰線ノ譚丸セシ事務ノ次第、日本政府ニ於ル之等々

事變直後（昭和十二年八月頃）上海ニ於テハ四十二年華字紙、外字紙及四十二年
大小ノ通信社々猛烈ナ抗日態度テアリ上海租界内ノ雜誌「グラフ」等ハ抗日ノ文字ト宣
傳ガ滿載セラレ民衆、軍隊ヲ煽動シテヰタノニ対シ日本側ノ言論機關ハ上海日報、上
毎日、上海日日ノ三つローカル」紙タケテ然モ此等ハ支那軍ノ爆彈、砲彈ニヨツテ工
ハ破壊セラレ「ガリ」版ニヨツテ纏カニ余脈ヲ繋イテヰタノミテ、支那言論機關ニ
抗ストライフヨリハ居留民ニ対シテ「ニース」至傳ヘル回覽板的ノ存在ニカナ
ッタ。マタ上海市内ニハ二十ニ余ル放送局カアツメカコレカ亦悉ク抗日放送局テ華語、
英、佛語等ニヨツテ熾ニ抗戰、抗日ノ氣勢ヲ煽ルニ対シ日本側テハ崇洋行主人會
持ツテ居タ五十「ワット」ノ少サイ大東放送局カ楊樹浦ニ以有ツタタケテアサ日本側
ノ映画館、演劇場ハニ、ニ過キス此レモ事變ト共ニ閑店休業シテヰルニ対シ支那側
第三國側ノ映画館、演劇場ハ大小數十テ日夜抗日映画、演劇カ満員ノ盛況モアツタ。